

# 木もれ陽

文責 平川 千秋

## 新たな歴史の創造 第36回体育祭

9月4日、今年度初めて、全校生徒が力を結集して取り組んだ体育祭が行われました。「三密を避ける」「大きな声を出さない」「熱中症を防止する」等、制約の大きい行事でしたが、様々な場面で生徒の皆さんが知恵を絞り、工夫を凝らした競技と応援で記憶に残る体育祭となりました。



各競技で精一杯のパフォーマンスを見せてくれた人、係活動でグラウンドを走り回ってくれた人、準備で会場作成を手伝ってくれた人、そして、この体育祭を支えてくれた実行委員、各色のモチベーションを高めてくれた応援団、本当にお疲れ様でした。一人一人が第36回体育祭の主人公でした。みんな“最高の笑顔”をありがとう！

## 挨拶・返事の質を上げていくには……



2学期の始業式で、「『挨拶・返事の質を上げていくにはどうしたらよいか、一人一人が考える』これを今学期の課題にしたい」と話しました。

当たり前5項目の1番目に挙げられており、玉中生全員が日頃から意識している「挨拶・返事」。ただ、当たり前すぎて少しばかりトーンダウンしているようにも見える現状をもう一度その意義も含めて考えてみてほしいと感じたことから提案しました。

1年生は8月27日の道徳で「あいさつ」を題材にして学習していました。始業式直後に学級会を開いて話し合っていたのは2年B組でした。廊下に掲示された「2学期の抱負」を見ると、「挨拶・返事をしっかりして模範となる最上級生になる」と記入するなど、やはり当たり前5項目がそれぞれの意識の中に着実に浸透していることがわかりました。だからこそ、この当たりの質を向上させる取組を考え、挨拶日本一、世界に誇れる玉造中学校を築いてほしいと思います。

## 校内探検①

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、保護者の皆様に来校していただく機会がたいへん少なくなっております。そこで、現在の玉造中学校の校内を紙面でご紹介いたします。詳しくはぜひお子さんとお話しして補足説明を聞いてくださるとありがたいです。



昇降口の下駄箱の側面に展示されているのは夏の席書大会の優秀作品です。中央には学習委員会「The Best Notebook」が展示されています。

3年生の教室に続く廊下には高校説明会の案内と各高校のポスターが掲示されています。

～体育祭～ 2020. 09. 04



快晴の下、282の笑顔が弾けた第36回体育祭。総合優勝、応援賞、色別対抗リレーとともに赤組の勝利に終わりましたが、白組も青組の自分達らしさを存分に発揮していました。玉中の歴史に体育祭の笑顔が新たに刻まれました。皆さん本当にお疲れ様でした！